# ふれあいぽけっと

今月の題字
三水第一小学校 一年 はにゅうだ りゅうや さん

【発行】 ふれあいぽけっと編集委員会（事務局:社会福祉法人 飯綱町社会福祉協議会）／ 〒389－1201 長野県上水内郡飯綱町大字芋川 181
TEL 026-253-8456 ／ FAX 026-253-2907 ／ Eメール：iizuna－shakyo@bh.wakwak.com

## 新わが家 ついに完成!!

### ☆主な記事☆

◆わが家竣工式
◆24 年度社協予算・事業計画
◆社協組織図
◆開発途上国を全校で支援
◆社協新任職員紹介
◆ボランティアコーナー
◆いいづなの事業所紹介
◆まちがいさがしクイズ
◆新 ささらばさら（４コママンガ）
◆りんごのつぶやき

## 新たな福祉拠点として

４月１３日、グループホームわが家の竣工式が開催されました。この冬は雪が多く、また、短い工期であったにもかかわらず関係者のご尽力により、細部まで手の行き届いた建物が完成いたしました。

施設の一般開放では３００人を超えるご来場があり、住民の皆さんの関心の高さと期待の大きさを感じました。

今後は、文字通りご利用者様の「わが家」となるよう、新しいこの施設に劣らないサービスをスタッフ一同提供してまいります。

また、訪問介護（ヘルパー）事業所もこちらに移りましたので、ともども宜しくお願いいたします。

※この広報紙は、社協の事業内容と飯綱町の地域福祉に関する新鮮な情報をお届けするため、
住民と飯綱町社会福祉協議会、町内の福祉を目的とする団体によって編集されています。

# 平成24年度 飯綱町社会福祉協議会予算

## 予算総額　５３，１９６万円

急速な少子高齢化が進み、飯綱町でも人口の減少に歯止めがかからず、高齢化率が２４年度には３０％に達しようとしています。更に世帯構成も三世代同居から独居及び夫婦のみの高齢者世帯、高齢者と単身の子の世帯が急速に増加しており、家族介護力の低下が顕著なものとなっています。また地域コミュニティの希薄化により、地域の支え合いのあり方も新たな模索が必要となっています。

### 今年度の飯綱町社協の重点事業

**■認知症支援の拠点としてグループホーム「わが家」がリニューアル　～４月に開所～**

ここでは従来の共同生活を行う入居施設の機能に、ショートステイ、通所介護、相談機能を併せもたせた認知症の総合的な支援を計画しています。

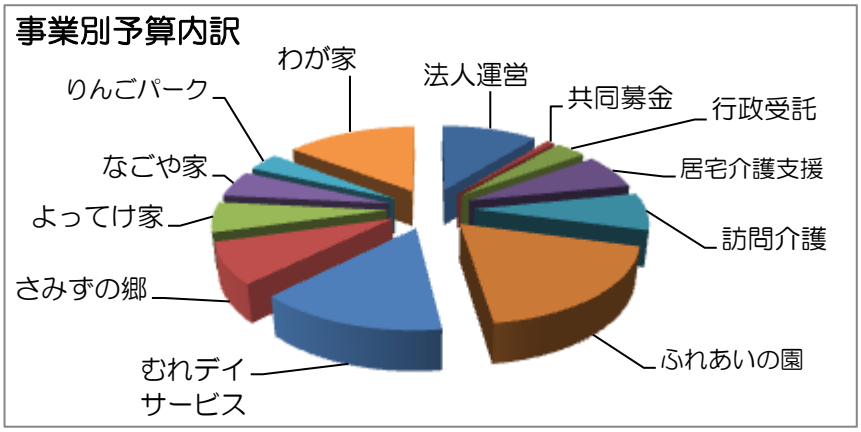
**■将来を見据え「住みたい、暮らしやすい」ふくしのまちづくりへの取り組み**

社会福祉協議会では、地区福祉推進委員などを中心とした住民の皆さんと“ふくしのまちづくり”について一緒に考え、活動ができるように推進してまいります。更に町内８ヶ所ある通所事業所等では、介護サービスの提供にとどまらず、住民の皆さんが、気軽に相談できるような環境を整備するなど、全事業所一体となって地域福祉事業を積極的に進めてまいります。

東日本大震災、また長野県北部地震から１年が経過しました。「絆」の言葉に代表されるように、小地域での支え合いの仕組みを活かした防災・減災へ向けた取り組みの充実を図ってまいります。

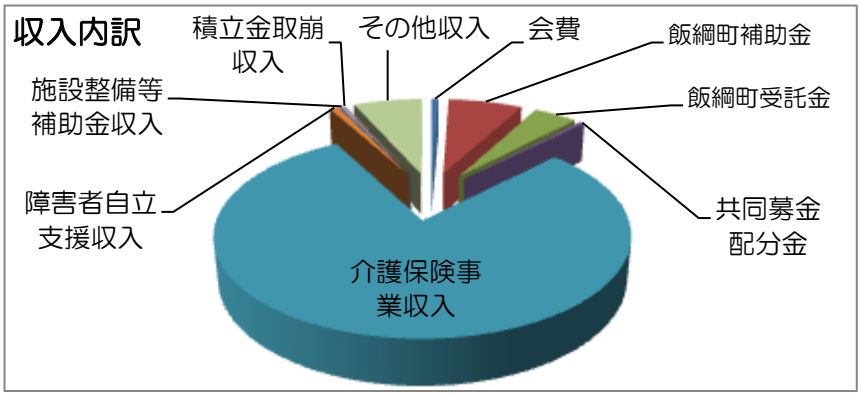
**事業別予算内訳**

| | |
|---|---|
| 法人運営 | 5,667 万円 |
| （ボランティア振興、福祉教育、移送サービス、活動計画等） | |
| 共同募金 | 474 万円 |
| （いきいきサロン、ふれあい広場、希望の旅等） | |
| 行政受託 | 1,811 万円 |
| （配食サービス、介護者ﾘﾌﾚｯｼｭ事業等） | |
| 居宅介護支援 | 3,642 万円 |
| 訪問介護 | 3,903 万円 |
| ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ「ふれあいの園」 | 9,949 万円 |
| むれデイサービスセンター | 7,831 万円 |
| ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ「さみずの郷」 | 4,318 万円 |
| 宅老所「よってけ家」 | 3,161 万円 |
| 宅老所「なごや家」 | 2,762 万円 |
| ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ「りんごパーク」 | 1,939 万円 |
| グループホーム「わが家」 | 7,739 万円 |



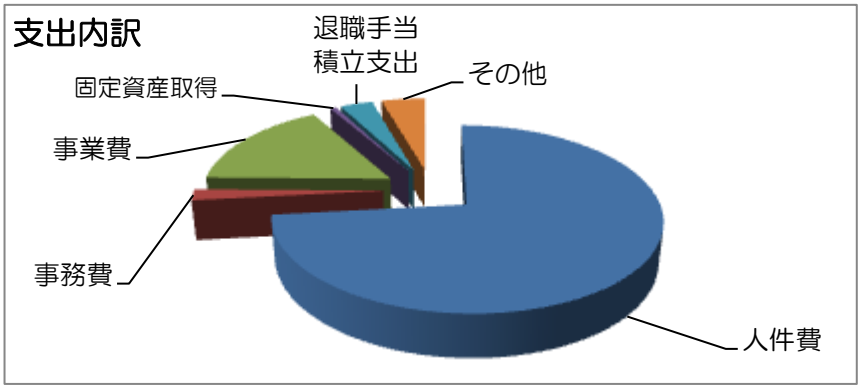

**収入内訳**

| | |
|---|---|
| 会費 | 367 万円 |
| 飯綱町補助金 | 3,802 万円 |
| 飯綱町受託金 | 2,242 万円 |
| 共同募金配分金 | 244 万円 |
| 介護保険事業収入 | 42,294 万円 |
| 障害者自立支援事業収入 | 478 万円 |
| 施設整備等補助金収入 | 149 万円 |
| 積立金取崩収入 | 100 万円 |
| その他収入 | 3,520 万円 |




**支出内訳**

| | |
|---|---|
| 人件費 | 38,969 万円 |
| 事務費 | 1,059 万円 |
| 事業費 | 8,742 万円 |
| 固定資産取得 | 327 万円 |
| 退職手当積立支出 | 1,751 万円 |
| その他支出 | 2,348 万円 |




**年間募金等計画**

５月　日赤社費（５００円）　社協会費（1,０００円）　１０月　赤い羽根共同募金（1,０００円）

# 飯綱町社協組織図

平成 24 年４月より社協の組織体制が変わりました。

新たな「わが家」が倉井松ノ木地区に完成し、そこに、訪問介護事業所も移りました。そして、３課制だった組織が、１課増え４課になりました。

また、住民の皆さんがそれぞれの事業所に連絡がしやすいよう、各事業所に電話番号を持たせました。その電話番号を、お知らせさせていただきます。

- 会長
  - 事務局長
    - 総務・地域福祉課 TEL　253-8456
      - 総務係
      - 地域福祉係
      - ボランティアセンター TEL　253-1001
    - 介護サービス第一課
      - 居宅介護支援（ケアマネ） TEL　253-5188
      - りんごパーク(パワーリハビリ) TEL　253-7436
      - デイサービス ふれあいの園 TEL　253-8510
      - デイサービス さみずの郷 TEL　253-8882
    - 介護サービス第二課
      - 訪問介護 TEL　253-8811
      - グループホーム わが家 TEL　257-1077
    - 介護サービス第三課
      - むれデイサービス TEL　253-7527
      - 宅老所 よってけ家 TEL　253-4020
      - 宅老所 なごや家 TEL　253-3915

皆さんのご家庭に掲示していただくなどお役立てください。

# 平成24年度 社協 NEWフェイス

三ツ井 啓寿
地域福祉係 管理者
役場から派遣職員として、お世話になります。よろしくお願いします。

内山 敬太
地域福祉係
町民の皆様と力を合わせて頑張ります。

原山 淳美
わが家
明るい笑顔と元気で頑張ります。

原田 栄子
むれデイサービスセンター
利用者様に笑顔になって頂くように頑張ります。

林部 史枝
ふれあいの園
皆さんと楽しく頑張ります。よろしくお願いします

松橋 友子
りんごパーク
みなさんと笑顔でがんばります。よろしくお願いします。

古里 樹
わが家
わが家での生活を精一杯サポートできるよう一生懸命頑張ります。

# 開発途上国を全校で支援

## ～三水第二小学校の取り組み～

三水第二小学校では、町内に住む東アフリカのタンザニア出身の小林フィデアさんとの交流を通してタンザニアの文化を学び、また、そこに住む子どもたちの支援活動を行っています。

数年前から、タンザニアをはじめとした開発途上国への支援活動等の一環として、収集したアルミ缶の売却益の寄付やペットボトルキャップのリサイクル活動を通じて環境や貧困問題への学習にも取り組んでいます。

二十三年度は、小林フィデアさんを通じてアルミ缶約三〇〇キログラムの売却益をタンザニアに送っていただきました。また、飯綱町商工会女性部の協力によりペットボトルキャップ約一四〇キログラムがリサイクルされ、その売却益がワクチンとして開発途上国へと寄贈されました。

全校報告会では、今春卒業の６年生児童が「病気などに苦しんでいる人の役に立てればうれしい」と活動の感想を話し「今後も続けてほしい」と後輩にエールを贈りました。

**２３年度活動実績**

◆アルミ缶
約３００ｋｇ(22,050円)

◆ペットボトルキャップ
約１４０ｋｇ(ﾜｸﾁﾝ70本分)

▲キャップを分別し洗浄した商工会女性部の皆さん

# ボランティア・市民活動コーナー

## 飯綱町ボランティア連絡会が「定期総会」と「講演会」を開催！

### ～3月24日〔土〕・元気の館で同日開催～

3月24日〔土〕元気の館で平成23年度ボランティア連絡会の総会が開催され、会員約40名が出席しました。

総会では、金箱会長より東日本大震災救援活動と復興支援活動の報告が行われ、岩手県山田町での炊き出しと、防寒着「ねこ」を80着の寄贈が被災者に大変喜ばれたこと、また24年度においても町民の皆さんの協力をいただき、引き続き「ねこ」100着をつくり寄贈する計画などが報告されました。

また、総会終了後の講演会では、小布施町でまちづくりの先進的な取り組みをしている「まちづくり会社ア・ラ小布施」の企画部長で町議会議員の関悦子さんを講師に迎え「住みよい町・活気あるまちってどんな町！」と題し、地域のために自分達ができることは何かについて学びました。関悦子さんは講演の中で、生活者の視点で「自分が望むこと（夢）」「社会が求めること」「私が出来ること」の実現に向け「力を出し」「づくを出し」「金を出す」ことが必要と話されました。

参加した寺島恵子さんは「世界から観光客が来る小布施町で、昔からあるものの価値を高め、生活者の視点に立って、行政と住民、大学、企業が一体となり活気あるまちづくりを実現した活動を参考にしていく必要があると思う。これからは人が資源であり、出会いを大切にする田舎体験を望む人が多くなることや若者が少なく人口減の時代に、前向きなまちづくりのヒントを頂いた。」と感想をお話しされました。

ボランティア連絡会とは…
町内のボランティア団体の情報交換や相互協力を通して、団体の活動を推進するとともに、ボランティアの啓発、発展・向上を目指し、設置されている組織です。

## ＊＊＊＊　お知らせ・募集　！＊＊＊＊

**このコーナーの内容についての問い合わせ・申し込みについては、飯綱町ボランティアセンター（TEL２５３－１００１・ファックス２５３－１００２）【担当：吉田】までお願いします。**

## 平成24年度　ボランティア保険の新規加入・更新　受付中！

### ～ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償します～

- 補償期間：平成２４年４月１日～平成２５年３月３１日
  ※中途加入の場合は、加入手続き完了日の翌日から平成２５年３月３１日まで
- 加入手続き：所定の「申込書」に必要事項を記入し、掛け金と一緒に町ボランティアセンターまで
- 次の４つのコースからお選びください。

Ａプラン[基本タイプ]280円、[天災タイプ]490円　Ｂプラン[基本タイプ]420円、[天災タイプ]720円
社協では、基本タイプの「Ｂプラン420円」をおすすめしております。

※社協（ボランティアセンター）に登録された個人・団体には一人当たり１００円が助成されます。
例 清掃ボランティア活動中、転んでけがをしてしまった・入浴ボランティア活動中、誤ってお年寄りにけがをさせてしまったなど・・・

もしものためにご加入いかがでしょうか？

# 認知症特別講演会

３月１７日に飯綱町民会館で認知症特別講演会が行われました。昨今の年金・介護・医療・福祉を取り巻く社会情勢への関心の高さから、私たちもこの町で安心して暮らすために、福祉先進国のスウェーデンから学ぼうと、グスタフ・ストランデル氏を講師に迎え、地域で私たちが考えなければならないことや、ボランティアとしての関わり方についてお話ししていただきました。

北欧スウェーデンでは、国民全体で納得できる合理的な社会システムにするためには『低負担』だけを望んでいては『高福祉』は望めない。したがって消費税の額も日本とは桁が違います。そういった国民での基本的な考え方や、国の政策に関心させられ、ふと立ち止まり足元を見つめるよい時間となりました。

消費税について
日本…５％
スウェーデン…２５％

わたしにピッタリを探そう！！

# いいづなの福祉事業所紹介

## NPO法人さみず さんばだより

花の便りはまだまだなのに、花粉の便りがちゃんとやってきています。飲み薬、目薬、マスク、ちり紙で必死にやり過ごそうとしている職員がいるなかで、不思議（？）なことに、ご利用者様方の中には「花粉症だ！」という症状がある方は見当たりません。どうしてかよくわからないのですがここはひとつ「さすがー！」ということで。

雪解けの頃から、カラスが二羽、さんば近辺にやってきてバサバサしているなと思ったら、ちょっとの隙にゴミ袋を食い破りごみを散らかしていました。カラスは利口で、いじめた人を覚えていて仕返しをするということなので、カラスより利口なさんばの職員は（ごめんね）、誰もカラスに石を投げたり、歌を唄って脅かしたりしないのです。ちょうどさんばへ用事でやってきた業者さんに、「帰り際にカラスを追っ払っていって！」と頼んだのですが、業者さんもさる者、返事だけで本気で追っ払わなかったのか、カラスは相変わらず仲良くさんばの庭の木々を飛び回っていたと思ったら、羽を大きく広げ、嘴で細い枝をひっかいてはどこかへせっせと運び始めました。巣作りです。さんばの敷地内に巣を作られて七つの子でも生まれたりしたら大変！そこで、くわえていく先をじっと見ているとどうもながさき医院さんの屋上らしいのです（内緒ですけど）。カラスって利口ですね。「ここなら絶対安全！」（どうして？）と考えたのでしょう。さんばとしては「そこならいいか…」と、新潟の朱鷺に負けない無事出産（産卵）を見守りたいと思います。さんばへカラスを見に来て！（嫌ですよね）

## i-café （アイカフェ） 4/２０ オープン！

NPO法人SUN あれこれ。

アップルミュージアム内にi-café（アイカフェ）がオープンしました。
これからの季節、アップルミュージアムから見える景色は最高です。
桜、リンゴの花、芝生のグリーン・・・。
のんびりとしたひと時を、i-café（アイカフェ）でお過ごしください。
土日には、地元の女性グループ「だんどりの会」の箱膳料理が体験できます。
箱膳料理は、要予約です。アップルミュージアムまでお問い合わせください。
アップルミュージアム　電話：２５３－８０７１

お問い合先　NPO法人SUN　電話：０２６－２５３－０１３３　FAX：０２６－２５３－０１６６

# あおぞらスケッチ

社会福祉法人
林檎の里
あおぞら

自閉症支援施設あおぞらも町内・芋川の地に根を下ろし、十三回目の春を迎えました。地域の皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。この十二年間におきまして町内に広がりました法人の各サービス事業所を年度替わりに際して改めて紹介させていただきます。

●ケアホームひこうき雲
飯綱中学校隣 平成十七年オープン

●日中活動支援センターにじ
牟礼栄町 同十八年オープン

●ケアホームつばさ
飯綱町普光寺塩ノ入 同十九年オープン

●ケアホームひまわり
飯綱町寺村 同二十三年オープン

当法人のサービスを利用いただく皆様には町内にて散歩に出掛けたり、時に食事や散髪、買物、通院などを利用するなど地域に根ざした生活を重ね、地域の皆様との交流を今日まで深めさせていただきました。今後とも引き続いてのお付き合いをどうぞよろしくお願いいたします。

この４月から、あおぞらは障害者自立支援法のサービスに移行し、五十名の定員から四十名、短期入所は五名から十名に変更し新たなるスタートを切ります。これからも社会福祉法人・林檎の里をどうぞよろしくお願いいたします。

## 「ニチイケアセンターいいづな」日記

4月・待ちに待った**春**がやってきました。隣の児童館に**黄色い帽子**の子供たちが集まってきました。**水仙**も咲いています。日差しも明るく暖かくなってきました。**桜**が待ち遠しいです！

3/20には、スイングフェイスという音楽集団の方にボランティアで来ていただきました。ピアノ・ギター・ドラム・サックス・ボーカルと揃った本格的な楽団です。歌も演奏もプロ並み！！美人ボーカルのきれいな衣装に男性利用者は、メロメロ！昔懐かしい皆が知っている歌を歌っていただき、スタッフもご利用者も一緒に口ずさみながら、楽しいひと時を過ごせました。野村上区の皆さんにもチラシをポストインし、当日たくさんの方においでいただき、にぎやかに開催することが出来ました。ありがとうございました。また、このような機会を設けて地域の皆さんと一緒に楽しむことができればうれしいです。

4/15飯綱町一斉清掃にスタッフ2名で参加させていただきました。歩いてみるとあちこちにごみが捨てられており、びっくりしました。きれいな飯綱町を保つための皆様の努力に感嘆し、マナーを守らない人たちに憤りも感じました。きれいな町・きれいな心を維持するため、私たちにできることは協力していきたいと思います。

「幸せだから、笑顔になる」のではなく、「笑顔だから幸せになれる」毎日笑顔で皆様をお迎えします！どうぞ気軽に立ち寄っていただき一緒に遊んで行ってください！！

前回まちがいさがしクイズ

### ☆☆☆お花見にまつわるうんちく☆☆☆

お花見の起源は奈良時代に行われていた貴族の行事と言われ、当時は中国から伝わってきた梅でしたが、平安時代に桜へと変わってきたようです。

町内では、県の天然記念物に指定されている樹齢１３０年（推定）の地蔵久保のオオヤマザクラや樹齢３００年以上で、日本画家の中島千波の題材にもなった袖之山のしだれ桜が有名です。

昔から桜は人を狂わせると言われていますので、楽しいお花見をする為に、マナーはしっかりと守りましょう！

## 第71回 まちがいさがしクイズ解答

**答えは「桜の木の枝」**
**「中央の男性のはちまきの柄」**
**「男性が箸で掴んでいるもの」**

窪田　彩乃　様
川野　花恋　様
小林　光子　様
仲俣　啓子　様
山浦　貞枝　様

上記の皆様が当選されました

## まちがいさがしクイズ

**―第７２回―　今月は「まちがいさがしクイズ」に挑戦**

正解者の中から５名様には素敵な景品をプレゼント！

| | |
|---|---|
| 50　389-1201<br>飯綱町芋川 181<br>飯綱町社会福祉協議会<br>「まちがいさがしクイズ係」 | ・こたえ<br>・じゅうしょ<br>・なまえ<br>・でんわばんごう<br>・今月号の感想など |

左右の絵を見比べて５つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領でご記入の上、ご応募ください。
締め切りは、５月１５日です。
【消印有効】

※第７１回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

## 寄付

匿名様　三〇，〇〇〇円

牟礼消費者の会　様　一〇，〇〇〇円

地域福祉の推進に活用させていただきます。
ありがとうございました。

### お詫びと訂正

先月ご寄付をいただき掲載をさせていただきました、高岡交友会の交の文字が公になっておりました。
正式には**「高岡交友会」**です。
訂正をさせていただき、お詫びを申しあげます。

## りんごのつぶやき

自分のところのものを人前で自慢する場合、手前味噌などと言います。かつて味噌は自家製だった時代の名残のような言葉です。私の家なども毎年ゴールデンウィーク頃になると一家総出で味噌づくりをしたものです。今では使わなくなった手回しの豆つぶし機がとても懐かしく思い出されます。

先日ラジオを聞いていたら、どこかの誰かが味噌を自分で作っている様子をレポートしていて、アナウンサーが「自家製の味噌だなんて、大変贅沢なことですね」とコメントしていました。自分も共感しつつも一瞬「えっ？」と思いました。かつて味噌ぐらいは自分で作ることが当たり前で、買って食べるなど贅沢だ、と言われてきたものですが、いつの間にか買って食べることが当たり前になってしまいました。当たり前になるにつれてそれが贅沢であるという感覚も薄れ、逆に手間暇かけて手前味噌をつくることが贅沢であると感じる自分に変わってしまったことにはっと気付かされました。

「贅沢」の価値基準も随分と変わったものです。味噌などわざわざ作らなくともお店で買えれば事足りるでしょう。味噌作りの労力を他の仕事に振り向ければ、産業全体の生産性も向上するかもしれません。自家用の味噌作りではお金を稼げませんから、贅沢というのは確かに当たっているでしょう。

今は「味噌を買って食べるなど贅沢だ」などという時代ではありませんが、味噌作りのようなささやかな贅沢を捨てて得られた効率性や利便性ばかりに頼って生活していると、なぜかたまには贅沢をしたくなるものです。効率性や利便性だけでは心を満たせない、というのは手前味噌な考えでしょうか？